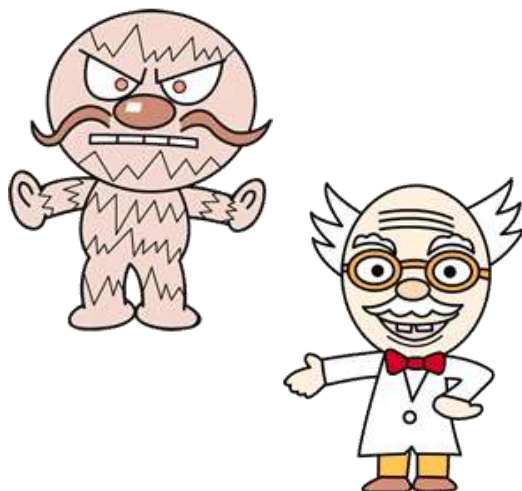


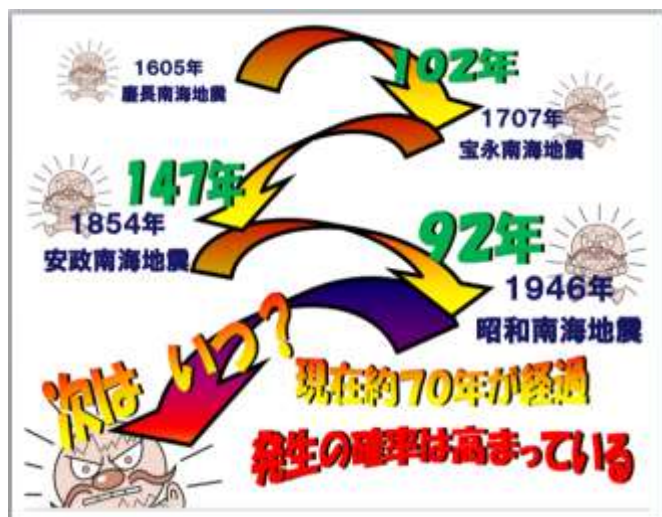
高等部で防災学習を行いました H30.2.1 2・3限「地震と津波の学習」

南海トラフ地震の気になる数字

- **70%**
 - 南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率「70%」(平成26年1月1日現在)
- **6時間**
 - 津波はくりかえし襲ってくる。「6時間」以上は、避難先でじっとガマンする
- **3分**
 - 南海トラフ地震ではからだに感じるゆれが「3分」以上続くこともある。弱い地震でも揺れが長く続いたときは南海トラフ地震かもしれません。



南海トラフ地震が近くあること、地震後津波が来ることは、みんなよく知っていました。昭和南海地震の写真を見て、僕の家はどうなる?とイメージできることもあったようでした。



学校でご家庭にお便りを出して実施している災害用伝言ダイヤルについても話をしました。体験利用日もあるので、家族で録音・再生を経験しておくことも大事と伝えました。

災害用伝言ダイヤル 171

「あの人がいないでおぼえよう171」

- 伝言の録音 **171+1+** 自分の家の電話番号など
- 伝言の再生 **171+2+** 自分の家の電話番号など

このほか、災害用ブロードバンド伝言板や携帯電話各社の権費用伝言板もあります。

災害用伝言サービスの体験利用日

災害用伝言サービスは、災害発生時に提供されるものですが、以下の期間にも体験することができます。ぜひ体験してみましょう。

- 毎月1日、15日
- 正月三が日 (1/1~3)
- 防災とボランティア週間 (1/15~21)
- 防災週間 (8/30~9/5)

高知県では高校生津波サミットも開催されています。未来のために高校生が、南海地震や津波が起こった際にどんなことができるか考えていくことは大事です。本校でも避難訓練に生徒の意見も活かしていくので、積極的に考えていってほしいと話をしました。

高等部 防災学習担当教員